

平成30年度 講座部本科修了式

ホップ ステップそしてジャンプ

紅白の梅が咲き匂う西九条公園。そこから修了式会場の此花会館梅香殿まで歩いてすぐ。会場も負けずと華やかな空気が漂う。3月2日（土）午後1時、講座部本科代表の岩崎氏による開会の辞で式典が始まる。

今年度の修了生は、緑組39名・風組36名・花組50名・星組47名合計172名である。（内、自然観察・活動アドバイザーは141名）開講時の平均年齢は65.6歳で前年度より若干若い。それがこの後の余興でも感じられ、特に女性がすこぶる元気だった気がする。



開会の辞
岩崎本科代表



祝辞を述べる川道先生

最初の挨拶で濱面代表理事は、「学んだ知識、スキルを自分の中にしまい込むのではなく、地域貢献へ還元してほしい。自然環境保全に人一倍関心をもって取り組んでほしい」とエールを送った。続いて来賓の川道 美枝子先生は、「失敗も糧になる、大事なのは意欲。千の種をあちこちに蒔いて花を咲かせてほしい」と挨拶された。続いて修了証書の授与に移り、一人ずつ名前を読み上げられ起立していく。シーンと張り詰めた緊張の場面が続く。さらに資格認定証授与と式は進み、各組代表が謝辞を述べ、岩崎



濱面代表理事から修了証書の授与

本科代表のきびきびとした発声による開会の辞をもって修了式は終わる。

そして、舞台の上と前に集合しての記念撮影をして、学びの1年が修了したことを実感したのではないだろうか。



挨拶する森 部門長

後半はお待ちかねの懇親会だ。緑組の武田氏による開会案内、風組上村氏の開会挨拶、森自然教育部門長挨拶、葉井氏の乾杯の音頭でビールを注ぎあい箸が進みしばらくは歓談の時。そして、余興へ。最初は緑組から。一年の授業を振り返りながら、一人ずつ一言コメントを述べる。そして、“四季の歌”を合唱。風組は女性が先頭に立って“幸せなら手をたたこう”から始まり、“Y. M. C. A.”、“思い出のアルバム”で



風組の“Y.M.C.A.”



緑組による“四季の歌”の合唱

一年を振り返る。花組は、“高校三年生”の替え歌、“野に咲く花のように”、“上を向いて歩こう”、“日本全国酒飲み音頭”の替え歌で“シニア自然大学校ありがとう”をコントで一年を歌う。星組は、“365日の紙飛行機”、最後のDA PUMPの“U. S. A.”では息の合ったダンスで会場を盛り上げて全ての演目は終了した。



花組の“シニア自然大学校ありがとう”



星組の最後は“U.S.A.”

そして、各組各班の代表がお世話になったアシスタントや関係者への花束の贈呈。最後は星組の四方さんがやり切ったと言う笑顔で閉会の挨拶を述べ、修了式は幕を下ろした。

冒頭の濱面代表理事のお話のように、“地域貢献への還元”そして、川道先生の挨拶の“種を蒔いてあちこちに花を咲かせる”事を期待したい。修了生の皆さん、一年間お疲れ様でした。（広報 記事：中谷、写真：福村、高橋）